

質問書に対する回答

件名) 横浜横須賀道路 京浜管内舗装補修工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図面 図面番号 122	図面番号 122 京浜管理事務所外構舗装 数量表の中でPK-4が0.2L/m ² 。PK-3が0.8L/m ² で計上されています。但し、土木工事積算基準（令和3年度版）P12-26 表4-8 簡易舗装工構成ではPK-4が0.43L/m ² 。PK-3が1.26L/m ² と表記されています。今回の工事では、図面番号 122の数量が計上されていると考えてよろしいでしょうか。	PK-4及びPK-3の標準散布量は図面番号122京浜管理事務所外構舗装図 数量表に示すとおりです。
2	設計図面 図面番号 12	図面番号 12 金沢支線舗装補修数量表のオーバーレイ工 YYS-2 下り 長浜トンネル 走行車線が夜間作業。YYS-3 下り 長浜トンネル 追越車線は昼間作業に分類されています。但し、参考図 図面番号2の昼夜舗装補修工事参考図では走行車線（STEP-1）が昼間。追越車線（STEP-2）が夜間と見て取れます。どちらが正しいのでしょうか。	オーバーレイ工の数量は図面番号12横浜横須賀道路金沢支線舗装補修数量表に従い計上してください。なお、参考図2/2横浜横須賀道路金沢支線昼夜舗装補修工事参考図は、オーバーレイによる段差が生じる際の規制の切り替えを示したものであり、施工順序を定めたものではございません。
3	設計図面 図面番号 59	図面番号 59に記載されているサーフェースダウンW=30cmの施工は検測幅4.0m+0.3mの計4.3mを機械施工するという考えでよろしいでしょうか。	検測幅は数量表「w」に示すとおりであり、サーフェースダウンの施工はこれに含まれます。